

[専門教育関連科目/環境の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
保健医療福祉行政論Ⅱ	NSF43_001	選択	2	4	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎	302	s.mochizuki	水曜日 12:30~14:00		
授業の目的・概要	保健医療福祉行政論Ⅱでは、保健医療福祉行政論Ⅰの学習内容をベースに、わが国における主要な保健活動の実際を学ぶ中で、地域保健活動の進め方の原則と方法論について理解を深める。演習を通じて、保健医療福祉計画とその評価の仕方を含む政策形成過程を模擬的に体験し、保健医療福祉行政としての保健師の役割を考察する。また、地域の健康課題解決に必要な社会資源を見出し、保健医療福祉サービスの計画・実施・評価の一連の流れについて理解を深める。				
学習上の助言	本科目には、3年次必修科目の「保健医療福祉行政論Ⅰ」をしっかり復習した上で臨むこと。また、「社会保障論」、「看護と関係法規」と特に密接に関わっており、連動させて学修することを勧める。				
教科書	・国民衛生の動向 2020/2021 厚生 の指標増刊 / 厚生労働統計協会 / 2020				
参考書	・自分たちで創る現場を変える地域包括ケアシステム～わがまちでも実現可能なレシピ / 編:竹端 寛 他 / ミネルヴァ書房 / 2015				
① 必要な知識と社会情勢を踏まえわが国の保健医療福祉行政に関する課題を説明できる。			HSU(1)(2)、NS(1)		
② 保健医療福祉行政推進のために、関係職種との連携の必要性を説明できる。			HSU(3)、NS(2)		
③ 演習に積極的に取り組み、課題に適切に対応できる社会人基礎力を養える。			HSU(4)(5)、NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	[オリエンテーション] 本科目の目的を確認し、枠組みと具体的内容を確認する。	講義・演習	3年次必修科目の「保健医療福祉行政論Ⅰ」を復習しておく。	4	
2	[動向要点整理①-1] わが国の社会保障の動向と衛生行政の体系について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第1編の概要と自分の考えをまとめる。	4	
3	[動向要点整理①-2] わが国の社会保障の動向と衛生行政の体系について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第1編の概要と自分の考えをまとめる。	4	
4	[動向要点整理②-1] 衛生の主要指標について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第2編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
5	[動向要点整理②-2] 衛生の主要指標について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第2編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
6	[動向要点整理③-1] 保健と医療の動向について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第3編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
7	[動向要点整理③-2] 保健と医療の動向について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第3編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
8	[動向要点整理④] 医療提供体制と医療保険について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第4編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
9	[動向要点整理⑤] 介護保険について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第5編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
10	[動向要点整理⑥] 薬事について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第6編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
11	[動向要点整理⑦] 生活環境について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第7編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
12	[動向要点整理⑧] 労働衛生について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第8編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
13	[動向要点整理⑨] 環境保健について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第9編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
14	[動向要点整理⑩] 学校保健について学修する。	講義・演習	国民衛生の動向第10編を熟読し、概要と自分の考えをまとめる。	4	
15	[政策形成過程演習] 地域の保健医療福祉行政について学修する。	講義・演習	これまでの学習課題を振り返り内省する。	4	
試	レポート 達成度評価・評価のポイントを参照				

[専門教育関連科目/環境の理解]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	50	50	0	0	100	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	20	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	10	20	0	0	30	
問題を発見・解決する力		0	10	10	0	0	20	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①		日々の授業の中で自身の発表に必要な資料をパワーポイントで作成する。他者にわかりやすく説明するためのツールとして、内容はもちろん、体裁や、誤字・脱字にも注意する。					授業時間内でフィードバックしていく。
	②							
	③							
レポート	①	✓	日々の授業の中で自身の発表に必要な資料をパワーポイントで作成する。他者にわかりやすく説明するためのツールとして、内容はもちろん、体裁や、誤字・脱字にも注意する。					授業時間内でフィードバックしていく。
	②	✓						
	③	✓						
成果発表	①	✓	演習に積極的に取り組み、課題に適切に対応できる社会人基礎力を養うため、他者の発言をよく聞き積極的に発言すること。毎回の発言回数及び発言内容を評価する。また、授業の出欠席も評価する。					授業時間内でフィードバックしていく。
	②	✓						
	③	✓						
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
その他	①							
	②							
	③							
備 考								
<ul style="list-style-type: none"> 講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 質問の受付は授業時間のほか常時メールにて行う。授業の進行や内容について不明な点があった場合には確認すること。 学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。 担当する教員は、保健師としての実務経験を活かしこの科目を教授する。(行政保健師として8年間の勤務経験あり) 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって、シラバスの内容が一部変更となる可能性がある。 								